

山口県金融・経済レポート

山口県内の各種景気動向アンケート調査について

NO. 14

2009年10月

日本銀行下関支店

本ペーパーは、柵木 雄介が作成しました。

内容に関する照会は、日本銀行下関支店総務課・福山、柵木

(Tel : 083-233-3113、E-mail : shimonoseki@info.boj.or.jp) までお寄せ下さい。



1. 山口県内の各種景気動向アンケートの概要

山口県内においては、日本銀行下関支店が、山口県企業短期経済観測調査、いわゆる日銀短観を3ヶ月に一度実施し、その代表的な指標として業況判断D.I.を公表している。これに対し、山口財務事務所や県内金融機関等も、同様のアンケート調査を実施している（山口県内の景気動向アンケートの一覧は図表1のとおり）。

これらの調査は、基本的にはほぼ同じ企業群を対象に行っているため、企業の業況判断を表す指標は、08年頃までは相互に似通った動きをみせていた（図表2、3）。しかし、本年入り後の各指標の動きをみると、大きく改善を示す指標がある一方、依然落ち込んだままの指標もあり、各調査の示す業況判断に大きな乖離が生じている。以下では、こうした乖離が生じる背景について、各アンケートの調査方法の違いに着目して整理した。

2. 各種景気動向アンケートの特徴と調査結果

県内の各種景気調査は、日銀短観と同じく、アンケート先企業に業況を尋ね、その結果をD.I.もしくはそれに類似する指標に集計している。しかし、その尋ね方は調査毎に微妙に異なっている（下表）。

▽県内各種景気動向アンケートの判断基準に基づく分類

判断の基準		該当する調査機関
水 準		日本銀行、山口経済研究所、県内信用金庫・・・A
変 化	四半期前比	山口財務事務所、西中国信用金庫・・・B
	前 年 比	西京総研・・・C

すなわち、日銀短観や山口経済研究所、県内信用金庫では、企業に対し業況の水準を尋ねている（上記A）のに対し、山口財務事務所や西中国信用金庫では、四半期前と比較した変化（上昇ないし下降）を尋ねている（上記B）ほか、西京総研では、1年前と比較した場合の変化を尋ねている（上記C）。

これらの指標は、08年秋以降、急速に悪化している点はいずれも同じである。しかし、本年入り後の動きについて、日銀短観を基準として比較すると、Aの調査結果は日銀短観とほぼ同じような緩やかな回復傾向を示す一方、Bの調査結果はここ数カ月で急速な回復を示し、07年以前の水準に復している。また、Cの調査結果では、悪化傾向が本年夏時点でも続いている。

3. 調査方法の差異に基づく調査結果の相違

こうした調査結果の乖離は、以下のような調査方法の違いによるところが大きいと考えられる。

①足もとの水準か、四半期前からの変化か

Aの調査では、調査先企業に対し、足もとの業況の水準を尋ねている^(注)のに対し、Bの調査では、四半期前からの変化を尋ねている。このため、現在のように景気が持ち直しの局面にある状況下では、水準を問われれば「悪い」と回答する企業であっても、四半期前からの変化に着目すれば「上昇」と回答するケースが増えると考えられる。

②四半期前との比較か、前年との比較か

BとCの調査は、いずれも変化の度合いを尋ねているにもかかわらず、大きく異なる結果を示しているが、これは、現在の業況を比較する時点の違い（四半期前か、1年前か）によるところが大きいと考えられる。すなわち、現在のように、景気が急速に悪化した後で持ち直しに転じている局面においては、多くの経済指標において「前期（四半期前）比ではプラスとなっても前年比ではマイナス」となっていることが多い。同様に、業況判断においても、四半期前と比較すれば「良い」と判断した企業であっても、前年との比較では「悪い」と判断することが多くなると考えられる。

(注) Aに分類される調査の中にも、多少の差異は生じているが、これは、選択肢の数や表現の違いも影響していると考えられる。例えば、①日銀短観では選択肢が「1. 良い」「2. さほど良くない」「3. 悪い」の3つであるのに対し、県内信用金庫の調査では、「やや良い」と「やや悪い」を含めた5つの選択肢が用意されている。景気が大幅に落ち込んだ後、小幅な回復を示している局面においては、前者では「悪い」から「さほど良くない」への変更が生じると、D.I.が改善するのに対し、後者では「悪い」から「やや悪い」への変更が生じるケースが多いと考えられ、かかる変更はD.I.に変化を与えない（D.I.は「良い」または「やや良い」と判断した社数構成比－「悪い」または「やや悪い」と判断した社数構成比で計算されるため）といった事象が生じ得る。

また、②山口経済研究所の調査は、選択肢の数は日銀短観と同じ3つであるが、基準となる選択肢の文言が「普通」となっているため、「さほど良くない」としている日銀短観に比べ、特に景気が落ち込んだ後の局面では、下方バイアスがかかり易い（「さほど良くない」に比べ、「普通」は選び難い）という事情もあると考えられる。

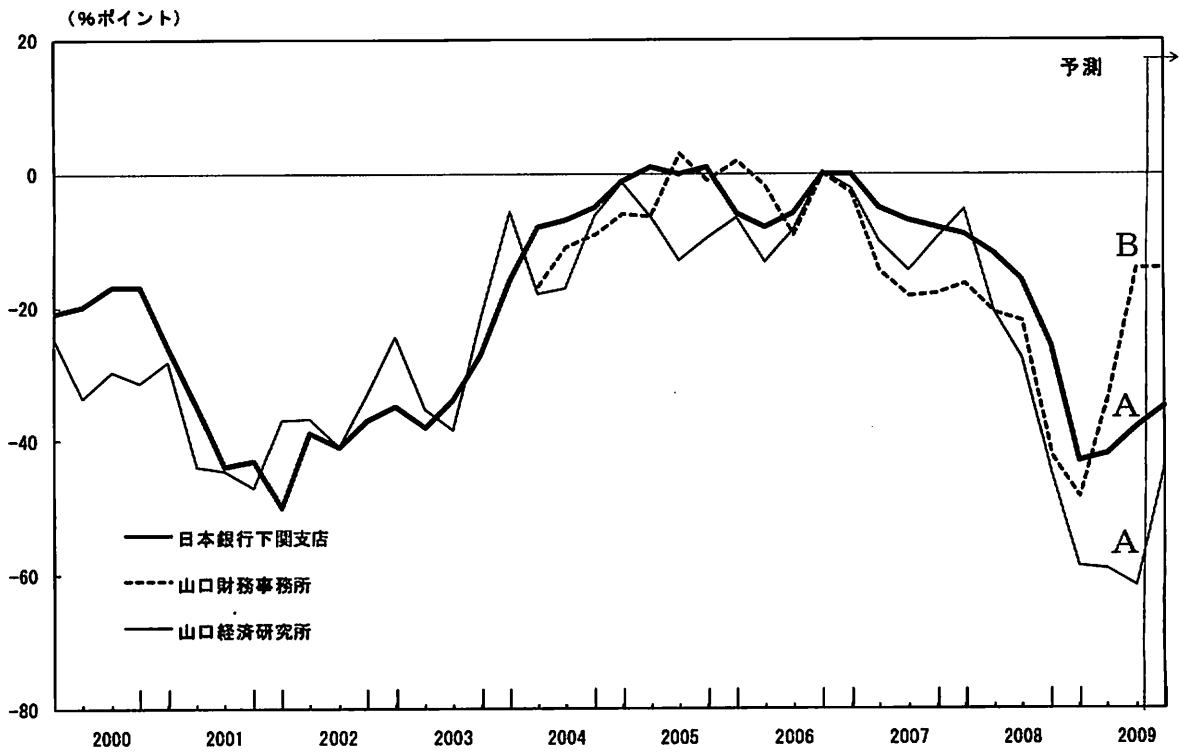
以 上

(図表1)

山口県内の各種景気動向アンケート調査の比較

調査機関	日本銀行下関支店	山口財務事務所	山口経済研究所	西京総研	県内信用金庫	西中国信用金庫	
名称	「山口県企業短期経済観測調査」	「法人企業景気予測調査」	「山口県内企業経営・設備投資動向調査」	「山口県内経済動向調査」	「しんきん景況レポート」	「かんもん景気ウォッチャー調査」	
調査開始年	1957年	2004年	1985年	2004年	2005年	2004年	
調査時期	3、6、9、12月	2、5、8、11月	2、5、8、11月	不定期 (2009年は2、6月)	3、6、9、12月	2、5、8、11月	
対象地域	県内全域	県内全域	県内全域	県内全域	県内全域	下関市及び門司港周辺地域	
対象企業数	164社	125社	432社	407社	209社	30名 (大型小売店、飲食店、観光、タクシー等)	
回答社数	163社 (回答率:99.4%)	120社 (回答率:96.0%)	281社 (回答率:65.0%)	212社 (回答率:52.1%)	207社 (回答率:99.0%)	30名 (回答率:100%)	
判断指標	業況判断	▽業況判断D.I. ・業況を「良い」と判断した社数構成比 - 「悪い」と判断した社数構成比	▽業況判断D.I. ・業況を「良い」と判断した社数構成比 - 「悪い」と判断した社数構成比	▽業況判断D.I. ・業況を「良い」と判断した社数構成比 - 「悪い」と判断した社数構成比	▽業況判断D.I. ・業況を「良い」と判断した社数構成比 - 「悪い」と判断した社数構成比	▽業況判断D.I. ・業況を「良い」と判断した社数構成比 - 「悪い」と判断した社数構成比	
	判断の選択肢	①良い、 ②さほど良くない、 ③悪い	①上昇、 ②不変、 ③下降	①良い、 ②普通、 ③悪い	①良い、 ②やや良い、 ③普通、 ④やや悪い、 ⑤悪い	①良い、 ②やや良い、 ③普通、 ④やや悪い、 ⑤悪い	
	売上高	▽前年比	▽前年比	▽売上高判断D.I. ・売上高を「好調」と判断した社数構成比 - 「不調」と判断した社数構成比	▽売上D.I. ・売上を「良い」または「やや良い」と判断した社数構成比 - 「やや悪い」または「悪い」と判断した社数構成比	▽売上額判断D.I. ・売上額を(前期に比べて)「増加」または「やや増加」と判断した社数構成比 - 「やや減少」または「減少」と判断した社数構成比	—
	経常利益	▽前年比	▽前年比	▽採算判断D.I. ・採算を「黒字」と判断した社数構成比 - 「赤字」と判断した社数構成比	▽収益D.I. ・収益を「良い」または「やや良い」と判断した社数構成比 - 「やや悪い」または「悪い」と判断した社数構成比	▽収益D.I. ・収益を(前期に比べて)「増加」または「やや増加」と判断した社数構成比 - 「やや減少」または「減少」と判断した社数構成比	—
直近の公表日	2009年10月1日	2009年9月17日	2009年9月10日	2009年7月31日	2009年10月21日	2009年9月17日	
調査結果	業況判断	4~6月 ▲42 7~9月 ▲38 10~12月以降 ▲35	▲33.9 ▲14.2 ▲14.2 ▲6.7(10/1-3月)	▲59.1 ▲61.5 ▲43.6	▲94.3 — —	▲58.7 ▲57.6 ▲50.2	38.3 38.4 47.3
	売上高	▽前年比(09年度) 全産業 ▲13.7% 製造業 ▲18.5% 非製造業 ▲5.2%	▽前年比(09年度) 全産業 ▲20.1% 製造業 ▲22.5% 非製造業 ▲3.8%	▽売上高判断D.I.(全企業) 09/1-3月 ▲54.5 4-6月 ▲60.0 7-9月 ▲58.9 10-12月 ▲43.4	▽売上D.I.(全企業) 09/2月 ▲51.0 6月 ▲59.6 半年後 ▲47.1 一年後 ▲33.9	▽売上額D.I.(全業種) 09/1-3月 ▲48.0 4-6月 ▲45.3 7-9月 ▲24.3 10-12月 ▲17.5	—
	経常利益	▽前年比(09年度) 全産業 +38.0% 製造業 +18.2% 非製造業 +55.7%	▽前年比(09年度) 全産業 +144.8% 製造業 +168.0% 非製造業 +60.0%	▽採算判断D.I.(全企業) 09/1-3月 ▲15.4 4-6月 ▲18.3 7-9月 ▲19.5 10-12月 ▲5.5	▽収益D.I.(全企業) 09/2月 ▲49.5 6月 ▲59.6 半年後 ▲52.4 一年後 ▲30.6	▽収益D.I.(全業種) 09/1-3月 ▲49.0 4-6月 ▲43.3 7-9月 ▲29.9 10-12月 ▲18.6	—
	設備投資	▽前年比(09年度) 全産業 ▲24.7% 製造業 ▲29.8% 非製造業 ▲15.2%	▽前年比(09年度) 全産業 ▲29.4% 製造業 ▲28.8% 非製造業 ▲34.1% ※有効回答社数は100社	▽前年比(09年度) 全企業 ▲34.4% 製造業 ▲33.6% 非製造業 ▲39.1% ※有効回答社数は203社	▽設備投資の予定がある企業の割合 09/2月 30.7% 6月 27.4%	▽設備投資判断D.I.(全業種) 09/1-3月 ▲5.4 4-6月 ▲2.7 7-9月 ▲4.8 10-12月 ▲9.2	—

(図表 2) 日銀短観と各種景気調査の業況判断 D. I. の推移 (1)



(図表 3) 日銀短観と各種景気調査の業況判断 D. I. の推移 (2)

